



今まで、戦争というのを簡単に考えていま
したが、今日戦争というものの悲さんさ
に痛感しました。

原爆を落とす際のアメリカの策略計算
の技術者に大変おどろきました。

そして、9日間義三さんの送った日々に
痛く、苦しいほどの共感を覚えま
した。

一しゅんのうちに14万人の人の大
切な、大切な命をうばい、被爆者
を24万人も出した原爆。それが世界に
また約1万6千個もあるというのが信
じられません。

今日は本当に90分も原爆の話
をしてくれてありがとうございます。

戦争についてのことがものすごく
よくわかりました。これからは、戦争
のない、原爆のない世の中になっ
てほしいです。



戦争などのことを書いた「はたしのか」は
 徳の家もあり、読んこともありますが、か
 し、残さず読んで読んでのをやめてしまいま
 した。ですが、今回の特別授業を受け、
 義三さんが見た、本当の原爆の後の
 姿は、とてつとて、たんとだと思いましたが、
 僕のひいおじいさんは原爆が空
 下された有日、後に広島に入り、
 が、キヤ死体などの目し
 うをしたえ、うです。ひいおじいさ
 んは亡くなってしまい、話を直接
 聞いてはおりませんが、父からその
 こといって聞くと、ひいおじいさんは
 死体の目し、が、死んで、葬で、仕方が
 無さ、た、う、た、義三さんもとても
 嫌だったと思えます、今日は、しん
 徳さんの話を聞くことができて、
 とても良かったとお、本当にありが
 とうございました。原爆のことを

考え

をわけになりました。



原爆先生の特別授業を受講して じゆこう

表

10/19

私はなぜ人間は、戦争をおこしたがるのかとあらためてじかんしました。なぜなら、池田 まさのりさんのお話を聞いて、戦争うゝというか、バクダンをおとすじょうけんがあること、1つあるからです。それは①バクダンをおとすのに直径5kmを超えなくてはならないこと、②平野であること、③空しめがないところにして私しは、もともぎもんになつたことは、京都をねらおうとしていたのにやめた理由です。その理由は、京都が日本の歴史をおおくがねをなえているからということ。もしこれが日本をせめるとなつた時にその京都の人たちのかんじうつまり日本人のいかりがま、くすになつてしまふからです。そんなことをいっているならどこもダメじゃないかと私しは、すごくおもしろい。そして、池田 よしひろさんがじ、さいにけいけんしたお話を聞いても、もしうけがてきたら、たのが、いきている人がいきていけるかわかりなくするくらゐに、い、せ、い、る、こ、と、は、手をといて、手ちひ、はら、た、た、け、る、い、ろ、か、は、が、本、て、し、ま、う、な、か、い、ろ、い、ろ、な、けん、は、く、の、ま、う、を、お、と、す、ま、り、こ、れ、か、ら、の、人、せ、い、に、つ、く、た、て、い、ま、い、と、あ、ら、た、め、じ、かん、し、ま、し、た。お、話、を、り、ア、ル、に、お、し、え、く、ん、

ありがとうございました。うございました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

10/19

私は初めあまり原爆の事をくわしくは、分かりませんでした。でも、今回の特別授業を受講して、こんな知らない事^{じゆこう}があって、こんなに大変な思いをされた方が、たくさんあると、改めて感じました。今から70年前、4月もわかずに、17歳で軍隊に入隊して、とてもすごいと思いました。そして、人が苦しむのを見て、見る事も本当につらかったらうなあと思いました。ウランというゴリラボール一個分の物で、爆発してしまふなんて、現実にあつたとなめか、とてもおどろきました。-しゅんのうちに、2万人がなくなり、5人に2人が原子爆弾でなくなるなんて自分には、考えられないくらい、おどろきました。でも、わずか50mにいた人が助かったの、おどろかぬなあと思いました。お父さんは、人形のものがきれいといっていたのを聞いて、実際に見た人ではないと、やはり分からないし、本当につらかったらうなあと思いました。あと、太陽の表面よりあつしいといっていてとてもびっくりしました。生きているのが、生きているのが分からないといっていて、とてもしょうけきでした。それでも、いよいよおどろかぬなあと思いました。今回の特別授業を受講して、知らないこともたくさんあつたし、もっともと原爆のことを深考えて、今回の授業に生かして、またいと思ひます。今回は、特別授業としてくださり、ありがとうございました。



10/19

この度は、原爆について詳しく教えて頂きまして、ありがとうございます。私は改めて原子爆弾の恐ろしさを痛感しました。一瞬で2万人もの人の命が奪われるほどの威力。そして、一瞬で亡くなった方たちの他にも、24万人の方が被爆してしまっ、た原子爆弾なんか、この世には、必要ないと思います。お父様が被爆されたのは、悲しく思っています。原因不明の病に20何年がおかされていたのも、悲しく思っています。京都府を目標にしようと考えていたとは、始めて知りました。でも、京都府を目標からはずした理由は、とてもひどいと思います。日本に落とされたら、日本人は、た"れて"も怒ると思います。でも、知れてよかったです。

90分という長い間、ご指導ありがとうございました。



10/19

私は、6年になって初めて『原爆』という言葉を聞きました。

いろいろなことが初めてで、知らなかったことが知れて良い経験になりました。

候補になった都市は、広島いかににも、小倉、長崎などあって、初めて知りました。どこに落しても大丈夫[!]と思^いま^した。広島に投下された『リトルボーイ』の中に、ウランが入っていて、たったの1kgなのに、広島をはかいする力を持っていてそんな物がこの世界にいるのかな? と思いました。とてもこわいものだと思^いました。原爆が落された音が、「ボン」となったのにびっくりしました。

トラックに乗っている時に、「助けてッ」といわれ、助けようとして、ひはったらひぶかむけてしまうなんて、すごくこわい経験をされたんだなと思いました。



90分間の授業が
 とうございしました。
 戦争はすごくこわいと思っ
 いたけれど、今回の授業
 で戦争はすごくこわいもの
 だし、すごくかましいもの
 だとおしえてくださいました。
 たった1つの原子爆弾でた
 んさんの方がなくなってしまう
 のはすごいことがわかります。
 今回のお話だけで、もすごく
 こわくて、すごくかましいのだ、
 実体験した人たちはこれより
 もっとこわい思いをされて
 いて、すごくこわいと思ひました。
 明日は座んとうたのうたを
 うたごうございました。

坂



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

10/19

私はこの授業を受けるまで 原爆のことを全然知りませんでした。

月の餅に当たった人が一しや入でいなくなるのほどで怖いなと
思いました。

1500円が、100円に下がったと聞いたら、おまじいおまじい
また、色々な国が、色々な物を持っているのは、おまじい
怖いなと思いました。

原爆が、東京に原爆が落ちたこと、怖いなと、胸がドキドキと
するほど怖いと思ひ、広島の人に、おまじいおまじい、原爆が
落ちたこと、怖いなと、思いました。

今日は、色々な事を話してもらって、原爆とらじいの様子が目に
うかがえました。

手をさしのぐたら、皮がむけてしまうのは、おまじい、怖いな
と思ひました。

みんなと、色々な人をこころして、原爆は、いらないと思ひ
ました。私も、しりょうかんに行ってみようと思ひました。

今日は、本当にありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して^{じゅこう}

表

10/19

私は、広島に原爆が落とされた、その場にい
た人が、とても苦しくて大変だったことは、知って
いました。でも今日のお話を聞いて、改めて、原爆の
つらさ、苦しさを知れました。

あと、原爆が爆はつしめ時の熱さが太陽よりも
熱いというのに、とてもおどろきました。

手のひらがむけるというのし、想像しただけで
ゾクッとするのに、それを実際に見たなんて、とても
怖いだらうなと思いました。それでも助けてあげ
ようという気持ちになりました。

ビデオで、池田 義三さんが並べて語ってら
したので、本当につらい経験をしたと思います。それ
でも、私たちに伝えてくれたので、とてもありが
たい気持ちでいっぱいです。

今回は本当にありがとうございました。



10/19

ほくは今日まで書いて来た系図は
 やってはいけなくてとあつたので
 かくへい機もつかってはいけなくて
 ことがよく分りました。

原子爆弾投下都市が6つもある。その内
 はじめは知りません。広島と長崎以外にも
 原子爆弾投下された都市があったことも
 知りませんでした。京都を避けたのは
 理由が日本をアメリカの領土にするため
 を知っていたことと知っていてもおそろし
 くない。

原爆の威力を見てアメリカの兵士もお
 どろきと驚いたとあるのに広島市にいた
 人々には爆心地付近にいた人はとてつ
 もない衝撃だったと書いてある。

原子爆弾投下時の中心の温度が100万度表面
 の温度でも7000度太陽より1000度も暑
 いものが上空600mにおちてきたとしてもこわい
 と思います。今日は授業をして頂きありがとうございました。



私の、そう祖父が軍隊に入っていて、
病気で死んでしまいました。あつたこと
はないけど、写真で見た姿はあつたよ
か。たてず。必ず二十一歳で軍隊に入ら
なければいけないのに、衝撃を受はし
た。原子爆弾は私達が日常生はきしてい
て、体験できないことだと思はいます。
なのに、たてきれたんはすこいです。
この時、原子爆弾はアメリカに落とさ
たけど、今は世界各国持っていて、
それを使つたら、世界がなくなる可能
性がある、絶対に使つてほしくないで
す。お話を聞いて、悲惨なできごとは
行つてほしくありません。今日話でも
ら。たてきごとは、後の世代の人達
に伝えなきゃ、絶対にやつてはけれ
ないといふことをちゃんと伝えてい
きたいです。うらいのに、原爆のお
話をして頂きありがとうございます。



とてもつらい、話をしてくだ
さって、ほんとにありがとうございます
います。90分間という長い、
時間ほんとをにげんはやくとい
う物は、おそろしんだな～と
あらためて、思いました。げん
はやくで、何十万人の人が、あな
くだりになられたなんてしても
びっくりしました。ひふがむけ
たり、わけじい上ひとくて、手
をひっはるとかあがむけ、体
えきかててきたりせうたいに
いたいじ、私しだたらたえ
られないし、なのに、一しょう
けんめいに、たすけをもとめて、
すごいとおもいました。このよに
は、せうたいに、げんはやくなんて
いらないと思、います。このたび
は、ほんとおにありがとうごさいます。



今日の授業ありがとうございました。
王くはこんなに原爆
がひさんなんぞ知りませんでした。
そのひさんさを原爆先生がわか
りやすくつたえてくれました。
この言いうがわかりやすかったです(ヒュー
ヒュードカシという言いかたが、すごかった
なということがよくわかりました)
これから原爆をためたとあらため
て思いました。
これからはこの話をわすれずに
していきたいと思います。この話を筆を
手をまったくしらない人につたえ
たいです。
今日は90分ありがとうございました。
とてもいい思い出になりました。



10/19

ぼくは、原爆のことは、原爆ドームのことくらいし
が知らなくて、原爆先生の話を聞いて、言葉にで
せないくらい悲しかったことを知りました。爆弾が爆
発した時の中心は、100万℃になって、回りでも7000℃
にもなり、太陽でも6000℃なのに、その温度をこ
えていたのを知ると、その悲惨さに気づきました。被
爆者の手をとると、皮がはがれおちたと言っていて、
気絶しそうになつたんじゃないかなと思いま
した。これらの話を聞いて、ぼくは全体に絶えられ
ないと思いました。ぼくは、このような原爆などの爆
弾はこの世に必要ないと思います。これから、どの
ようにすれば、このようなことを防げるのかを、考
えて、生きていきたいです。このような話を教えて
くれて、本当にありがとうございました。ぼくは、こ
こで学んだことをこれからのことには生かし、生
きていきたいです。



ぼくが初めて知ったことは原爆
がたった10ですごくいきけんなこ
とです。それが60ころあったら町
が10ころくらいいきとばさるそう
ですごくいきけんたし初めて
思いました。次に感じたことが
考えたことは原爆で14万人も
死者がでて24万人はひがいを
うけたら広島町の町はめつほうする
と考えました。感じたことは熱線
や衝撃波や放射線が今地球
全体に現れたらどうしようもない
と感じました。お礼は知らない
ことをいっはおい教えてくれてあ
りがとうございました。あと原爆
の熱線と放射線と衝撃波
とかが原爆がはかせいたとき
にすごくいきけんたし教えて
くれてありがとうございました



私は、これまで「原爆」のことは、
ほぼ「なににも」知りませんでした。
原爆先生や池田義三さんのお話を
聞き、多くの被爆者、死者がいる
ことを知りました。太陽のように
6000℃の物が地面から600m
の所にあるということは、とても
おそろしいことだと思いました。
また、爆だくの熱、17000℃のあ
つをまびたら、いっしょんで消えて
しまふと想像をしたら、とてもこわい
です。でも、そのような出来事を
まのあたりにした人もいます。
約90分間の原爆のお話本当に
ありがとうございます。被爆者
の方に手をさしのべたことは、とても
とても勇気のいることだと思ひ
ます。



今回はお忙しい中来ていただき
本当にありがとうございました。
今回のことで、原爆の悲惨さを初め
て知りました。特に原爆の威力、
原爆が落ちることでのどのような
ことが起きるのかがすごく印象
に残りました。原爆は、すごく恐ろ
しいとしか知らなかったのです。
今回は、一部だけがもとをきき人外
その一部だけでも知れて、勉強に
なりました。今回のことをきっかけに
放射線などのことも調べて、
原爆のことを知り、もう二度と人
なことが起こさないように、
自分たちが大人になったら、努力して
いきたいなと思いました。

今回は、本当に来ていただき
ありがとうございました。



私は、戦争というところから「あぶない」や「こわい」という言葉が思いうかびます。今回の授業で戦争についてくわしく説明していただいて、今までよりも戦争は二度としないといけないという気持ちが高まりました。私はまだおさなかつたころに、原爆ドームに行ったことがあります。そのときに見た、ひるのはがねた人形は、とてもおそろしく、今でもおぼえていますが、しかしそのころの私は、戦争などまったく知らなかつたので、ただただ「こわくて」と泣いていました。今、こうして戦争について知ることができたので、またいつか原爆ドームに行って、しっかり心に焼きつけ、そのひさんさを後世につたえていきたいです。今回は本当にありがとうございました。



本日はお話をありがとうございました。

原子爆弾投下直前に条件があるとはしませんでした。

きいていて、とてもかなしくなりました。

きいている私たちが話している池田さんの方がよっぽどつらかったと思います。

私には、そうそうもできないくらい
ひさんだ、たんたなど思い、話を
してくれた人たちに感謝して
います。

死者のかわいさをしてもやすすぎょう
は、とてもつらかったと思います。

もう二度とこんなことがないように、
これからの日本がもっとよくなるよ
うに、私たちにできることを
したいと思いました。

ほんとうにあつありがとうございました。



私は、原子爆弾で死亡率が40%
になったり原爆(じゅこう)があつたりしたのは初
めて知りました。

どのくらいの高さでどのようにおちたの
がも初めてでした。

池田義三がたゞにふしたりしたこと
今広島が"ひどいじやうたい"になつてなかつた
りさいこにたすけた少女がたすけたりした
んだなとお思いました。

私は、この原子爆弾とうかどいろいろな人
がなくなりいろいろな人がくるんだりしたんだ
と感(かん)じました。

また、おぼえているだけでくるしいとゆう
目にはおぼろししていたたきほんどうに学べた
90分かんたとおもいます。

ほんどうに40分かんありがとうごうしました。



私は、原爆先生のお話から、原爆の本当のおそろしさを知りました。もちろん、私は原爆を体験していませんから、人々の様子や、兵隊の気持ちがわからないかもしれませんが、今まで資料などを少し読みましたが、ほんの少ししか理解できていなかったのだとも思います。けれども、先生の授業の中で、当時の人々の気持ちに少し、近付けたような気がします。遠い昔の、小さな爆発——、そうではなかったのですね。人と人のみにくい争いによって、罪のない人が一人残らずぎせいになること、人や生き物が長い間構築してきたものが一瞬で無に帰ること——。生き残った心にも深い傷あとが残り、記憶や後遺症は一生消えない。これほどひどいことはなからう。私は、世界の原爆がなくなるように、うたえていきたいです。先生、今日は本当に、本当にありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して^{じゅこう}

表

10/19

今回、つういことなのになに話して
ただいてありがとうございました。
私は、まさか、原爆のことを知ら
なくて、ていねいに、ご質問や、資料
を用意して説明してもらい、原
爆のつういこと、ものごとくのが話をも
特に、1K2のつういことです。たまたの
ゴルフボールの国を広島が焼
け野原にふるまふことがおじ
ろきました。広島の資料館は、
行った方が、いいと思ふけれど、こわく
て行けません。マ性か歩いて、いる人
形もリアルなので、も。とひとかた
ののですね。そつ考え、そつでも、おそ
うしさが、こつでもかかれます。この授
業で、原爆のこつ、つうい、そして
二度や、てはいけないと改めてか
かりました。今回は、本当に、あつ
が、こつ、ごい、ました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

10/19

私は原爆(を落とされたとき)の大変さやつらさを、先生から学びました。ほとんど、知らないことばかりでした。人の姿が、人間ではなくなっていたというのが、想像できませんでした。それを運んだ義三さんは、凄い人だと思いました。私が、特に驚いたのは、原子爆弾の威力です。爆弾の中心が100万度で、側面が70000度、地面に落ちたときが30000度という熱さにびっくりしました。衝撃波が、毎秒440mで、そこにいた人は一瞬で消えてしまうほど、凄い威力ということが分かりました。また、爆心地は、真空になり雲がこれ以上上へ行けない、というのも凄い威力というのが分かりました。最後に、義三さんの映像を見て、やはり、本当に苦しくて、大変だった人だと思いました。

私は、この授業で、先生のお話を聞いて、原爆のおそろしさが分かりました。この後、戦争がないといいと思いました。



私は広島に、原爆が「おとされた」とはなかなかに
 けつやくは知らなかつたし、広島にいた人々が
 くらなっていたか何をしていいたかも知らなかつた。
 けれど、今日、話を聞き、原爆の大きさ、落ちた瞬間
 のスピード、衝撃波の速さ、温度など、多くの事
 のことを知って、人々の様子を聞き、私もつらくな
 りました。昔ウランは7kgしか熱しようしなかつたこ
 とを聞いたルポーンに、あつたし、0kgが熱しようし
 たらどうなっていたかと思うとおそろしくなりました。
 ゴルフボールの大きさで、広島をばつた
 ことがとてもびっくりして信じられなほどでした。
 死者数が14万人と聞き、八王子市の人々よりも、多く
 の人が苦しみ、その中で、2万人の人々は、いなくなり
 なくなりました。水も、分がらなくなるほどと聞き、とても
 悲しくなりました。今の技術では、もっとたくさんの人々
 がなくなろと思うとこわくなりますが、原爆で死
 んでしまった人々の生きたが、た「今」も、私は生
 きられる。だから「今」、生きていることに感謝し、「今」
 を大切に生きていきたいと思いました。



私は原爆を体験した人の話を聞いた
ことはなく、そこまでおそろしいものだと
は知りませんでした。けれど今回、原爆
先生の話を聞いて、どれだけの被害
があったかが分かりました。他にも
ためになることをいろいろ教えて
くれてありがとうございました。教え
てもらった中で一番おそろしいのが、
ウランのことでした。原子爆弾の中に
ウランが60kgもつまれていて、その中で
1kgしか爆発しなかったのに、広島が
はかいかえしてしまったと聞いて私も、
60kg全部爆発したら、日本はどうなっ
ていただろう、とびっくりしました。もし、原
爆先生に教えてもらえなければ、こう
考えることはできなかったと思いま
す。スクリーンなどをつかってくわしく
原爆がおきたときのことを話してくれて
本当にありがとうございました。



戦争は、すびくつらい事は知ってたけど、
先生のお話を聞いて、自分が思っていた
物よりも、何十倍もちかくて、とてもつらい
事だとさらに知りました。爆弾を投下
させるための条件や候補によって、
原爆を投下した事や、爆弾の熱や
爆弾は、ウランでつくられた事など、
あまり知らなかつたので、とてもくゆく
おしえていただき、よく分かってきたお
な気がします。私は、戦争で、ひいおじい
ちゃんがついて、あまり戦争の話は、
本とかでしか知らなかつたので、今回
色々教えてもらい、本当にありが
とうございました。これから、もっと
戦争の事を知って勉強していま
たいと思ったし、広島でのこのいった
事は、なかなかなら知れないので、
とてもうれしかったので、今回は本当に
本当にありがとうございました。



ぼくは、原爆という物は、とても
ひさんなのだとということが分かり
ました。原爆はウランというので
できていて、それが $\frac{1}{60}$ kgだけでも、
ものすごいひがいが出て、原爆の
い力はものすごいと感じました。
1番しょうげきを受けたのは、原爆で
5人に2人が亡くなってしまったことでも
ぼくは、このような争い、原爆などの
武器は使わず、話し合いで解決
していきたいと思いました。
ぼくは、戦争というものは、みんなを
不幸にしてしまい、町もひさんにな
ってしまうので、もうこんなこと
ならないで、本当に話し合いで
解決してほしいと思いました。
今日は、いろいろがしい中、ひさんな戦争
を思い出してしまうのに、教えてい
ただいて、本当にありがとうございました。



私は、広島資料館へ行きました。私がまだ、4年生だったころだったので、普通におそろしさか、よわがたぶく資料館を見ないで資料館に行かぬといふ。手主にならぬ。この戦争のおそろしさかたぶくようにたこの特別授業を受講しました。資料館で見たたからいふ、が流れていたく形。それがわくて、資料館から出たのに、お話をよく聞いたから、形より、も、とすこかたなんで、思いもはこんでした。この授業を受けて、前より戦争のことをよく知りました。二度とこんなことをしないように、今の私を先主かきつたいと思いました。この授業は、私たちに、もうこんなことはあこさないで、と言われた気がします。もし、国と国がもめてしまっても、私たちがいじでもくいとれます!そして、戦争をおなくなりになられた方、つらい思いさせられた方には、ごめいふくさおいのりします。今回は急かしい中、とてわがりや勤い授業をしてくれて、ありがとうございました。



ほくは、あんな聞くわけでも
ゾットする様なひさんを巻き
起こす、原子爆弾を1万6000発も
つくる事ができる事が、不思議
で不思議でたまりません。

そして、ほくが思い考える事は、
この様な事をクマだと、なくさなけ
ればいけないという事を、うた
えること。さらに大切なことと思うの
は、正しい判断をできていける
人間へと、変わっていくことだ
とほくは思います。そして、今生
きている人が、このひさんすぎる
過去を後生に残して、少し
づつでも、なくしていけたら
いいと思います。この度は、二人を
大事に忘れてはいけないう事を
していただき、ありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して^{じゅこう}

表

10/19

私は、原爆先生のお話しをきいて
せんそうについてよくわかり
ました。条件でいままでくうし
う外なあなたのためにたいへんた
なとおもいました。太陽よりも
あつい7000℃とほすごいなど
おもいました。いけたさんか
17才で、はいられて本当なら
20才以上なのにとてもすごいと
おもいました。私外、原爆にあつて
生きていたらまわりをいた
たしくてみれなるとおもいました。
生きていた人は本当にきせきな
人などとおもいました。7000℃
の少年の竟口乗かとてもわかり
ました。広島市人口35万人かあつと
いうまにしてなくなつてしまつてと
てもかわいそうだとかんじました。
ありがたうございました。



はくは、広島して投下された原爆が何れかの
の事がよく分かりました。約4秒もある
なんて思ってもいけません。そして
そして太ろうりもあつし)なんて
しかも、味かあちこくる事がありえな
いなんて思いました。原爆は太ろう
りもあつし)という事を初めて知り
ました。

そして、広島はとてもつらいという事
としても大変という事を知りて
よく分かりました。ほかのところに
が出てくるという事も初めて
知りました。実感しました。

そして、毎秒440m、音速340/秒という
事を初めて知りました。

今回は、とてもつらいお話をしてくださ
り本当にありがとうございました。
本当につらい事を知りました。



原爆の力が、これさなとけり
いろいろなことをおしえてもらいました。
忠人が70000であったことを、
知って、原爆がどれだけの力か
あるかがよくわかり、二つから
です。たいへんな思いをした兵士
さんが、おこったたいへんそうで、すこ
くたくましいと、思いました。

衝撃波の速さが毎秒440mと
聞いて、こんな速さかかそうそう
をこえていました。死亡率40%とし
て、何万人もの人が亡くなったのがとても
かなしかったです。



原爆先生の特別授業を受講して じゆこう

表

10/19

原爆がどれどれおもしろいかがすごく面白
 きました。原爆がさいがいをたくさんもたらす
 ために初めて知りました。ドラマなどがあ
 りていて面白いです。でも、それは、人
 々にも、悪い話をさせているが、おもしろ
 くないです。おもしろい話が、おもしろ
 い話です。でも、おもしろい話、おもしろ
 い話です。



私は原爆の事は少し知っていたけど、これほどの悲
さんさんとは思わなかったけど、話を聞いて
原爆の怖さ、悲さんさを知り、すごく怖い
気持ちになりました。もし、自分だったら
と思うとすごく怖い気持ちになり、
話をきいていても、泣いてしまったり、なみだ
が出ました。なぜ広島に、なぜ長崎に。
という思いがこみあげてきました。どうし
て、日本。すごく悲しくなりました。
人の皮ふなどがただれてしまう。やけど死んで
しまう。原爆の力が伝わってきました。
この話を聞いて、今の生活はあたり前では
なく、ありがたい事だと思う。そして原爆の
悲さんを自分たちが次の代へそして次の代が
また次の代へと話をしてつなげていかな
いけない事だと思う。また今後の生活も、旧
旧ありがたいみをもって生活をしていき、
日ごと、この原爆で苦しんでいる事を
わすれずにすごしていきたいです。



私は今まで「原爆」という言葉は知っていたし、とても悲惨だったということは聞いたことがあったけど、今回原爆先生の話を聞いて、ここまでひどかったとは知らなかった。とてもびっくりしました。広島の人には、原爆が落とされるまでは普通に暮らしていたと思うから、今自分たちが毎日暮らしているのはとても幸せなことなんだなと改めて思いました。自分たちでは想像できないくらい怖くて、辛くて、ひどかったんだろうな、と思うと涙が出そうになりました。原爆なんて何てあるんだろうと悲しい思いがこみあげてきました。とても悲しくなりました。助けようとしても、皮ふがただれたりした、という話を聞いて、本当に大変だったんだなと思えました。人が一瞬にして消えて、黒い影だけが残った、という話はびっくりしました。映像はすくしょうけきでした。それだけひどかったということが分かりました。でも、実際に原爆をけいけんされた方は、自分たち、けいけんしていない人の想像よりも、ひどかったんだろうな、と思えました。いつか、広島に行って、原爆ドームに行ってみたくなりました。



私は原爆のことをあまり深刻には受けとめていませんでしたが、今日原爆先生の話を聞いて、原爆というものは、人々を苦しませるものであり、これからは決して使っては、いけないものだということも知りました。原爆にあった人のなかで、今でも原爆を体験した人で心の傷を患っている人など、いっぱいいるなかで、こうして今日、せ田さんの話を聞けてとてもよかったです。私は未来が平和であるためには、「リトルボーイ」のような、原子爆弾を使わなければ、今の世界には、「リトルボーイ」の1000倍もの力をもった、原子爆弾が一万六千発もあることを知り、どうして、平和になるように努力しているのに、力をもつのだろうか?という疑問がわきました。



原爆先生の特別授業を受講して じゅこう

表

10/19

ぼくは、先生の話しをきくまで原
 爆は、あとまじきにして扱ったけど
 今日、田先生の話しをきいて、原
 爆のおそろしさをしりました
 原爆が広島に落とされて死者が14万人
 の人死んでしまったのはびっくりしました。
 広島に落とされた原爆が4土をやる
 ことがあつて、びっくりしました。
 田先生のお父さんが、いしたたこと
 をして、原爆が広島に落とされたこと
 原爆を落とすのが、あつておぼえに、か
 ら、おぼえられたのか、びっくりしました。
 人がおぼえ、人間で、かたはいと書いて、
 ほととが、おぼえられたけど、い、と、エ、ン、の
 が、おぼえ、おぼえ、ほとと、の、こと、おぼえ、
 びっくりしました。
 世界に原爆が、い、おぼえ、こと、おぼえ、
 に、おぼえ、原爆を、おぼえ、おぼえ、おぼえ、おぼえ、
 おぼえ、おぼえ



原爆先生の特別授業を受講して

表

10/19

ぼくは、今日のお話を聞いて原爆とはとても悲惨で怖いものなのだと思います。地上600mの高さで太陽よりも熱い暑さになるなんてとても考えられません。なぜ日本の広島や長崎が原爆を落とす場所に決められてしまったのか、被爆者の方がかわいそうでせくなってしまった人はもったがわいそうだと思います。

広島の前爆のせいで広島市の人口の40%、14万人もの方がその先の人生をうばわれたのは悲惨なものだと思います。

原爆の瞬間を目撃した人のしょうげんでさっきまでいたはずの人が一瞬の内に消え去る、人の水分がなくなり炭になってしまうというのがいんしょう的に残ってとても怖く驚怖を感じました。こうした悲惨で怖い原爆をくり返さずこの平和が続くといいと思います。



10/19

今日の授業の原爆先生のお話を聞いて、なみだもでそ、なぐらい悲しい気持ちになりました。ですが、その池田 三さんの物言いで知れたたくさんのことがありました。一番心に残ったことが、い、しゅんにして広島の人が火焼けて死んでしまったり、全身を火焼かれて、ふっくに歩けないうたいになつてしまう。ということでした。もちろんぼくにはその原爆のおそろしさは、わかるにはわかるんですが、実際に体験した人ほどは、たくわかりません。そのことについて、ぼくもよく知りたいと思つて、いまた、あとは原爆のウランが60kg分の1kgしかとばないのはなぜなんだろかと思つて、でも今では千倍ほどのいづくがでるとは、おそろしいと思つてました。



今日の原爆についての授業を受けて、私は、原子爆弾のいづくについてや、原子爆弾の悲惨さについて知ることができました。原子爆弾による命をなくした人もたくさんいて、広島市の人口 35万のうち、死者数が14万人もいて、その内の約2万人が、いっしょくにしてこの世を去ったというのを聞いて、恐怖のバもいただきました。原爆がどれほどおそろいのか分かりました。熱線、衝撃波、放射線、どれもものすごく恐ろしいものだと思いました。1kgのウランの重さ、1kgのことも分かりましたし、そのウランが60kg、全部を使ったら、もっと悲惨になるのではないかと思いました。現在も放射線が、原爆症で苦しんでいる人、帰る家がない人がたくさんいるんだと知っておどろきました。私は、その人達に何をしなければいいのかわからないけど、少しでも力になればと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

10/19

ほくは原爆先生の言葉を聞いて

いろいろおどろきました。

そしていろいろもあって

それはふつうのたんせいがあるの

せいで、いけい本がたなり炭になっ

てくろいカケたごう、その

が二あつた。

それとほくは、いけいたんせい

あつた。

「はい、これなんが、いけいたんせい」

と、したが、いまで、いけいたんせい

あつた。

これは、いけいたんせい、いけいたんせい

も、いけいたんせい、いけいたんせい

あるから、いけいたんせい、いけいたんせい

あつた。

ほくは、このいけいたんせい、いけいたんせい

あつた。

いけいたんせい、いけいたんせい



私は、原爆の悲惨さを池田さんに教えてもらい悲しさを伝え、これを教えてもらいました。

人というのはとても、弱いけれど、でもそれぞれに、一つのかを持っていて、がんばって生きていこうとしているのを聞いて、自分も、もっとも、がんばっていこうと思いました。

はくたんが落とされた悲惨さ、うらみと、悲しみは、まったく体験したことのない私には、最初、少ししか分かっていませんでした。けれど、話を聞いていくうちに私も原爆をまるで体験したように、どんどこうらみが伝わってきました。

私は、一つ、池田先生の話を聞いて、すごくいっしょうに残ったことがあります。それは、人間だ、たのみに、人間ではない、という話です。すごくあつーいはくたんをおとされたのだなという感情がその一言で、いきなり伝わりました。

原爆は、おそろしく、悲惨だけれど、生きていくかは同じなのだということが、私には、すごく、すごく、伝わってきました。



原爆のひさんさを学ぶことができ
よかったです。外国の人がなぜ日本の
広島県、小倉、長崎県のどこかに原
爆を落とそうと思ったのが不思議でした。
いろいろな機械(ラジオリントと)を使
って爆弾を落とす意味があるのか
なと思いました。池田さんのお父さんが、
苦しんでいる人を、必死に助けてい
たのが思いやりがあり、勇気がある
人なんだと感じました。広島市の人口、
35万人のうち、被爆者数、24万人、死者
数14万人で、死ほう率が40%のもの
すごい人が被害を受けたんだと知る
ことができました。爆弾は、中心、100
万と、周りは、17000とで、想像をはる
かにこえる温度なんだと、すごくびく
りしました。東京スカイツリーの第二展望
台の高さから、爆弾が落ちてくると
すごく怖いことなんだと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

10/19

原爆 はふつうのばくだんで、広島がばくはつした。ぐらいいかが見、ていながらたけよくわしいことを知って、本当のこわさを知った。こんなにおそろしいなんて思、ていながら、たし、パラシュートという説がまきがいたったことも初めて知った。受講して、一番心が痛んだのは、「たすけてたすけて」というシーン。想像してみると、とてもひどいじょうきょうだ。たんだなと思った。私にできることは本当に小さなことだけど、このことが平和に少しでもつながるといいと思う。まず1日目、今日やったことだ。しっかりと原爆のことについて学ぶこと。2日目、このことを少しでも多くの人に伝えること。3日目、学んだことから、自分に何ができるか考え、そのことをじょうこうすること。そして4日目、しょうらい、原爆のおそろしさを伝えることのできる人になることだ。リトルボーイのいりよく、そしてひがいをいつか多くの人に伝えて、戦争はわるいことであり、必ずやっではいけないことだと思わせることのできるような活動をしたかった。こんど、原爆ドームの近くまで行ってみたいと思う。



私は池田先生の話しを聞いてよかったですと思っ
ています。フーフードカーンというところはとても
おどろきました。はくだんをおとすこうげリストで
よこ浜ときいて少しおどろきました。リトルボーイと
いうはくだんの名前はすと書ずれないと思っ
ます。リトルボーイの全体の大きさ3mとき
いてその中にウランが60kgはいっ
ていたのにゴルフボール1コ分、1kgであ
んなにはくはつるとはとてもロクク
ルしています。この特別授業を受けて私は、
広島の資リょうかんについて見て、もと調べて
みたとき、きょうみをもちました。今日の話
の中で一番心にのこったことは、義三
さんが最後のほうに女の人を助けるところ
が心にのこりました。理由は、まだ
生きてるだからこそ、助けきれいに手あ
てをした。ということがとても心があたたか
くなりました。今回はどうもありがとう
ございました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

10/19

90分の授業を受けて私は、たくさんのことを学びました。原爆の大きさ、その時はどうだったのか初めて知りました。私は、この授業を受けて、詳しく知ることができました。池田さんに教えて頂き、わかっているつもりでも、体験者からすると、何万分の1にも達しないと思うと、とても、ぐちゃく思います。きっと、一生わかろうとしてもわからないのだと思います。

私は、この授業を受けて、以前よりも、原爆に興味を持っています。広島原爆ドームに行ってみようと思うようになりました。ビデオを見て音声と画像がとても怖かったです。授業が終わり、怖い気持ちがほとけたのと同時に、悲慘さがこみ上げて来て、涙がこぼれ落ちました。

今日、教えて頂いたことを心に留め、これからの生活に生かしたいと思います。私は、今日習ったことを後世にも伝えて戦争のない、平和な世界を作りたいです。

今日は、本当にありがとうございました。

現在より平和な世界を目指して元氣張ります。



今日の授業を通して、原爆の悲惨さが、たくよく分かりました。爆弾が落ちた時、一瞬で人々の命が奪われ建物もずらりと倒れてく姿を想像すると、涙が出てきそうになりました。原爆が7000℃もあることを知って、7000℃、どのくらいだろうと、考えて、それに当たれば、人は、どんな気持ちだったのか知りたくなりました。原爆ドームを残しておくのは、もう思いたくはない、むごたらしいあさましいので、残しておくまいのではないかと思いましたが、もうこの爆弾を落とさない、二度とこのようなことを起こさないことを残す印になるから残しておくんだと思ひました。3分のビデオから、男の子が階段のとろに転んでいるところから、爆弾の力で一瞬で消える場面が、一番心に残りました。男の子のすわっているかげのあと、静かに消えた所が、心に残りました。すごく悲惨でした。すごく怖かったです。この町にも原爆が落ちたらどうなるのか、自分生き残るのか、それとも助かっているのか、すごく心配になりました。ずっと気になりました。池田先生のお父さんの話と、泣いている所を見ると、命の重みがよく分かりました。たく学べるけい験になりました。聞けてよかったです。



原爆先生の特別授業を受講して

表

10/19

原爆についての事を学び、今回とても衝撃
が走りました。原爆とは、ただの爆発物では
なく、^{多く人の}人の命をうばう、使ってはいけ
ない物だと思いまして。爆撃機の前
のゆらいや 爆発した時の空気の仕
組みなども知り、とても良い経験に
なりました。自分になにができるのか
わからないけれども、自分にやれる事が
あったらいい。そう思いました。あり
がとうございました。とても勉強に
なりました。



私も何年か前に原爆ドームと原爆資料館に行ったことがあって悲惨さを資料や実際のものを見たことがありました。それを今日の授業でよりくわしく分かりました。原爆を体験した人にしか分からないことも本にしてその中のことを読んでくださったのが分かりやすかったです。生きている人の傷口にうじ虫が入ってしまうのは痛そうだしとてもかゆいそうだと思います。うでを前方にして歩く理由が私には分からなかったのです。知れてよかったです。熱線が7000°で太陽が6000°という熱線のほうが熱いのかびっくりしました。今回の授業で戦争、原爆はこれからもずっとあってはならないものなんだと思います。命の大切さを改めて実感しました。



原爆のこわさがあかた。
ビデオの時ほくはトキとし
ました、とくに原爆に投下し
たビデオ手にあせ書きました。
原爆先生の説明や体験談を
聞いてひさんやきょうかを
覚えました。候補にな。たの
が京都や横浜にもな。てい
て京都が一番つよにおされ
ているなんてしりまもんで
した。しょうげき波の速さが
毎秒440mしかもおん
速う40mで音をくよりもは
やいなんとしてもおどろ
きび、くりしました。原
爆ドームの本当の「口前」は
ひろしまけんさんきょうしょうれ
いさんだなんてしりませんで
した。



原爆の悲惨さについてくわしいことが知れてよかったです。被爆した人24万人もいるとは思わなかったのでもビックリしました。11月16日に7まれていた、160kgのウランが、1kgではなく、60kgずつが落ちていたのも、ひどい被害が出ていたのたろうなと思いました。原爆B-29が、広島県産業資料館だったという名前だった事を、今回のお話を聞いて知りました。原子爆弾投下都市の条件が、あるとは知らなかったです。被爆地になった都市が、いくつもあるとは思いませんでした。今回のお話を聞いて、初めて知ったことがたくさんあったので、お話しが聞けなかったと思います。今回のお話で一番ビックリしたことは、衝撃波の速さでした。他にもビックリしたことはたくさんありました。知らなかったことがたくさん知れてよかったですと思いました。



私は、今日特別授業で原爆のおそろしさや悲惨さがわかりました。けれどなぜ「エノラ・ケイ」は日本に落としたのか、広島に住んでいた人の命を無視して「間違いなく結果が〜」などということが言えたのか不思議に思うことと同時に怒りを覚えました。池田さん達は、「もう帰りたい。」などと思っていたかもしれないのに、人命救助や死体の焼却を一生懸命命令を遂行していてもすごいと思いました。池田さんのメッセージのビデオを見た時とても悲しい記あくを呼びおこしてしまってとても申し訳なく思いました。原爆を体験していない私が言うことではありませんが、もう二度と原爆による被害がおこらないといいと思います。



原爆先生の特別授業を受講して

表

10/19

今日の特別授業のおかげで、原爆の悲惨さがよりよく伝わりました。なので来年からのもくとうはもっと思いを込めたいと思いました。

一瞬にして命を奪われ、何も分からずに死んでい、他人のことを思うと何とも言えない心地になります。どのくらい熱く、痛く、驚いたのか分かりません。また、そう思う時があったのかも分かりません。

5人に2人、クラスでいうと約15人が死んでしまいます。生きている人にも、うじ虫がいるのを初めて知りました。原爆が太陽よりも熱いというのにはとても驚き、あっけにとられました。太陽よりも熱いものが人の手によって作られると思うととてもすごいことだからです。

今回、私たちが学んだことを次の世代へと伝えることで、原爆の悲惨さ、戦争のひどさが理解できる世の中になり、核兵器などの武器が無くなると思います。



原爆の話をよく聞いて、教科書で見たものよりもすごく悲惨さが伝わってきました。原爆が起きたあと、周りにいた人たちがいっしょんにして消えるようなことや、やけどをした人たちがすごくかわいそうだと思いました。広島をまわった兵隊の人たちはとても苦しむこともあったけど、最後まで、命令にしたがうことができるのがとてもすごい勇気があると思いました。大勢の人たちをいっしょんにして殺してしまうのはすごくひどいと思います。そんな危険すぎる原爆など二度とやらないでほしいと思います。そのためにはこのような原爆の悲惨さを世界の人々に伝え、原爆ドームを残すべきだと思う。戦争はとても苦しいということもすごく知りました。今でも戦争をして苦しんでいる国はあるから、またそのことが広がらずに世界が平和になって、ずっと続いてほしいと思う。



はじめて原爆についての話をききました。原爆の本はた主に読むこともありますが、本よりも、もっと衝撃的でした。

おけただれたひふ、と言っていておりましたか、その姿を見たことのない私たちには、とても想像できません。いつか原爆資料館にも行ってみたいと思います。

しかし、これだけ見ても、実さいに見た人に比べると、分かっているつもりでも、本当はぜんぜん分かりきっていない人だな。と思った。

これからは、私たちの世代がこのような原子力爆弾から、日本だけでなく、他の国を守り、原爆をこの世界に作り出さないようにしたい。そして、広島原爆の10倍ものおそろしい、広島以上の悲劇をくり返さないようにする。



僕は、手がすべり落ちるなどと聞いただけで気持ち悪くなりました。実体験者の方は聞いたり言ったりなど、思い出したくないということには、分かります。池田さんは自分の実体験を話してくれて、その動画を見たとき、あまりの悲惨さに恐怖を覚えました。もし僕が体験していたらと思うと、吐き気がして、すぐにその場を立ち去ったと思います。B29の恐怖は祖父からよく聞いていて、本当に足が凍りつくほどだったそうですね。しかしB29の怖さをはるかにこえる原爆。そのリトルボーイは放射線などを多く浴びていたため今考えるととても怖いのです。このような話を聞いてとても良かったです。とこれで終わりになるほど原爆は甘くありません。原爆ドームへ行くと悲惨を受けるとも、本当はもっとすごいのです。僕たちが知っている。といってもぜんぜん一部にもなりません。実体験者からすると大形などは「きれいなあたりなど、さまざまに部分で原爆の悲惨さのどこかの部分がかけてひるのびきり



正直おもっていたよりも悲惨で、おどろきました。太陽よりも温度が高い爆弾なんでも、まったくかんがえられません。そして、どうして、一瞬にして被爆した人の影がのこっているのか、不思議になりました。一番心にのこったのは、衝撃波のことでした。音の速さが、毎秒340m。それでもはやいとおもうのに、衝撃波は、毎秒440mだなんて、とおもったからです。それと、ウランのことについても心にのこりました。1kgだけで、広島を焼き尽くしてしまふということを知ったからです。60kgおびえてもえてしまふとしたら、すごく怖くて、考えられません。それに、亡くなった人のことを考えるのもつらいです。5人に2人という割合で、どんなに99人か、どんなにくるしいおもいをしたか。その人たちの気持ちをまもるためにも、原爆ドームなどをこの後世にもつらさを伝えて



私はお話を聞いてるときにすごく悲しくなりました。両手を前に出して歩くことを知ると、どれだけ悲惨だったか想像することができませんでした。人の形が残っていないことも想像できましたが、私の想像をこえる悲惨さと言ったことが分かりました。原爆の温度も知り、お話をきいているだけでも、こわくなりました。死亡率が40%もあると、どれだけ大変だったかがすごく伝わってきました。それに今はもっと強い爆たんがたくさんできていると知ると、もしおちてしまったりしようと考えてしまいました。そしてまた「原爆しょうじょうの人もいる」と知ると、つらくなりました。もし私が「助かた」と言われても、なにもできないことが分かったので、そこにいた、へいたいの人たちは、どれだけ悲しく、どれだけくやしいかが分かりました。今日のお話をきいて、今はとても平和と言ったことが分かりました。



私は、今回の授業を通して、初めて戦争の悲惨さや苦しみをふかく感じました。今の私たちの生きかたとてもありがたいも、こう執拗にやりました。広島原爆が、それほどに、被爆者や死者数が多く、その多くは、はたがたたれてなくなってしまう、1歳にたり、かすかのこころおもひたけにならなくなってしまったり、悲惨にならなくなってしまうのとは思いませんでした。私たちは原子爆弾の「スースー」の音をきいたかたけ、すくおとあいたすと戦争を体験した人たちは音たけじゃなく、熱線や衝撃波、放射線などとそのような音やいかにおびえながらくらしたし、常に生きるか死のあいたをさまよっていたので、私は、とても悲しさをかんじました。私は今回の授業で戦争はせつたいになにかあってもやっはいかいとふかく思いました。そして、毎日生きられる事に感しゃしてすごそうと思いました。



本日に90分間ためになるお話ありがとうございました。ほくは、原爆について全く知らず、全く興味もなかつたけれど、話を聞いてたく感動しました。一番びっくりしたのは、太陽より熱い原子爆弾が投下されたということです。直径200m、中心部は100万度、周りは7000℃、下についた時は3000℃の原子爆弾が地上から600mはなれた所でおとされたなんて考えられませんでした。そして、その原子爆弾は、広島市をつつみ、被爆者数24万人・死者14万人・死亡率40%と、とてもきょうふな数字をのこしてしまいました。ほくは、そのような悲しいことかないように、平和をのこしていきたいと思いました。そして、いつかは広島県へ行つて、そのひさんさを、まじかで見たいと思いました。

本日にためになるお話ありがとうございました

ございました。



原爆の体験談を聞いておとにもうなんと文で表せばいいか。私はただ体験談を聞いただけでも本当におそろしくなり、今でも想像するだけでも身ぶるいしてしまうほどです。

「ものすごく悲惨」この言葉だけでもまたぜんぜんたりなくて表せないのが残念でくやしく感じられます。

だけど被爆者の方々はもっとつらく、衝撃、さんごさ、またまたたくさんのかつを一気に衝撃波と共に感じたのですよね...

ひるがはかれおちる、こしかけた人のかげしか残っていない虫のしん管...

想像すると背すじがゾツとして身ぶるいしてしまいます。

90分間の長い体験談本当に本当に感謝します。いつか世界中から争い、戦争がすべてなくなることを祈っています。



今回、原爆先生のお話を聞いて思っていることは、原爆はとってもこわいと思いました。今までは、そんなにこわくもないし、なんだろうと思ったくらいで直ぐに考えたことなくて今日聞いて今とっても原爆について考えています。いりやくは、おそろしいからこのハ王子にもしも原爆が落ちたら、自分や身のまわりの人達はどうなるのたろうと思いました。きっと自分も助からない。原爆はきゆうたいで、その中の温度は100万℃で初りの温度は7000℃でそこから600mでも3000℃と言うのは、おどろきその熱をあひると、体じゅうの水分がなくなり、その後のしょうげきで、炭になって消えた時の映像を見た時私はきょうう、でした。その後、コンクリートに残っていたツミのあとは今でも頭で、その時の映像が流れています。とってもこわいです。今日の原爆先生の90分間のお話はとってもいい、けいけんだと私は思いました。今回のことは家の人に全部話そうとも思いました。



ありがとうございました。

私は、原爆はあまり分かっていなかった
たので、原爆について知れてよかったと
思いました。私は、最初に話していた
「7000℃の少年の意味が分かりました。
そして、候補になった都市カトリックホー
ルが、じゅうりょくで落ちたことについてとて
も、悲しいことだけ知れてよかったと思
います。私は、熱線、衝撃波、放射線と言
う言葉は知っていましたが、どんなことをする
のは知りませんでした。

池田さんは、原爆のことを話すことも、
つらいはずなのに、今日、みんなに話し
てくれてありがとうございました。最後
お父さんのビデオを見て、原爆のつらさ
がうたわって来ました。

本当に今日、二時間お話ししてくれてあ
りかどうございました。今後、わすれな
いとも、いい思い出になりました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

10/19

原爆のいなくをしてそれを広島におとす
 は、すくなくとも、さういふこと
 今は、もし他の戦争があるから、さういふこと
 だと思ってる。それは、さういふこと
 でした。戦争のひきかえ、しり
 ちがひでは、いけないうことだと思いは
 した。原爆の熱い体の中の水分がなくな
 ってしまうし、かんじて人がいなくな
 るよんで、さういふことだ、しきんくたな
 と思いました。人のひきかえ、とけたりし
 てそれを、はこがなんですか、いかに
 がひつたか、と思いました。自分には、
 そんなことが、さういふこと、思っています。
 太陽よりあついなんて、さういふこと、
 さういふこと、さういふこと、思いは
 した。被爆を受けているし、さういふこと、
 人がいるから、さういふこと、思いは
 した。あらためて原爆のおそろしさを
 しました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

10/19

今日は、原火暴についていろいろとまなびました。

ぼくは、原火暴をビデオで見たときやばいなとおも

いながらです。広島に落とされた原火暴には

名前がついてたなんて知らなかったです。その名前

は、リトルボールは第74とあるなんてすごくお

そろだとおもいました。しょうげきはの速さは

毎秒440mなんてすごーいとおもいました。

けんばくドームという今はもう名前なのし

昔は広島県産業奨励館というなまえなん

てしなからたです。池田さんに問題をだされた

とき「1kg」とかいてあったときなんたいいみ

わかんないとおもいました。その1kgは、ウランけんばく

ということでした。リトルボーイがおちたとき

広島に35万人だ。たのには被火暴者数35万人うち

24万人いたなんてやばーとおもいました

死者率14万人はいて死亡率が40%のいた

なんてびっくりしました。これからも

それをばんきょうに生かしてけんばりたい

とおもいます。ありがとうございます。



原爆先生の特別授業を受講して

表

10/19

私は、「7000℃の少年」と言われた時に
何が何だかわからなかった。原爆実体験者
としては、思い出したくない。現実の数々を
目のあたりにし、それを後世へ伝えていく

とても簡単なことに聞こえるけど難しく、そし
て悲惨。泣かざる程、悲しいことだった。

もし自分が体験者だったら、その時代に
生きていたら、と考えれば考えるほど、戦
争が怖くなっていく。そのとき、ふと私は思った。

「戦争は悲惨だ。何かを解決しようとするけど、
始めてみてからわかる、何で始めてしまったのだろう

と。池田義三さんは、17歳で陸海軍に入部
し、広島原爆投下を目の前で受けて、生々しく、

して人々がさけんで助けを求めた姿を見たと思うと目が
らんだ。そして、私は今日の特別授業を受講

して見て、『自分は本当に少ししか知らない人
だ』としみじみ思った。又、今日が平和で何

よりも嬉しく思います。これからも平和である

毎日がずっと続いてほしい。沢山戦争について調べ、スケール

特定非営利活動法人原爆先生 <http://hiroshima9.com> post@hiroshima9.com の大きい大人に
なっていただきたいです。



池田貞徳さんの話を聞いて、広島に原爆が落とされた様子が、僕の想像していたものよりも、暗く鮮明で、ぞんこくでした。

広島に落とされた原爆は、ウランが60kgの状態で、その中の1/60だけの量で広島県の人々の40%の人が死んでしまひ、今も原爆の影響が後遺症が残っている人がいて、苦しんでいる人がいる事を知り、原爆の怖さを実感しました。昔は技術が発展しているからため、ウランが1/60だけしか意味がなかったけれど今は技術が進歩し、千倍の1000kgのウランを爆発させる事ができるようになり、その原爆が世界には1万6千発もあると池田さんが言っていたけれど、その1万6千発の原爆を起すして、二度と被爆者が出ないようにしてほしいと思いました。

北朝鮮がよくミサイルを発射して、力をみせつけていますが、北朝鮮のやうな国をなくし、この地球から原爆やミサイルなどの爆弾がなくなつてほしいと思いました。



原爆先生の悲憤を聞いて、涙がこぼれ出しました。被爆した人の事を考えると、泣いて悲しくなりました。こわくなりました。平和な日々を一旦離れて、悪夢に似た、原爆は、絶世の女にあっては、いけないと思いました。原爆が落ちてきたときの映像を見るとき、こわくなって体がふるえました。原爆が太陽よりも暑い、7000℃もあると知って、すごいおどろきました。原子爆弾はアメリカは広島と長崎の二つの場所におとしたのが、多くに思いました。川の水が一旦離れて、しばらくするまで、すごい熱がこぼれ出さずとも思いました。今回原爆の話を知って、とてもいい思い出になりました。ありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

10/19

最初思ったことは何で自分は原爆の事も何にも知ら
ないで普通に生きてこれたのだと思います。広島に原爆
が落ちた事や自分は知っていたけどその事について
何とも思わなくて何もしなかった事や、
今、心算でこの事を感じては、何とも言えなくて
すごくつらいです。原爆先生が「パンクと爆発」
前編を見た時すごくのびのびとした感じがした。
2回目に鼻の息の音と息の音と、
こわくてこわくて、こわい気持ちが多いので
わかった気がするけど、本当は和が震える以上に何目も
何倍もこわかった。原爆でほとんどの人がなくな
ってしまい、その中で生き残った人々の気持ちを
考えるとこわくてこわくて、林檎がたまはま、その
ようにつらい危い女している人の気持ちや、
自分も、いままで向いたも、
いしもの間に消えてしまった人、本当に、
本当の、息まは、本当の、実さいのきもち
全くわからないけど、死でもかになれたらと思った。
こわしく知れて良かった。お別れです。